令和5年度 シラバス

教	科	公	民	科		目	現代社会 単位数 2 単						
学	級	3年生普通コー	ス選択	教	科	書		最新現代社会 新訂版 (実教出版) 最新現代社会 新訂版 (実教出版) 演習ノート					
教科の)目標	広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めるとともに、人間としての在り方生き 方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。											
科目の	人間の尊重と科学的な! 科目の目標 せ、現代社会の基本的な! について考察する力の基				いて主	- 体的に	考察し公	正に判断すると	ともに自らの				
評価の	観点	関心・意欲・意	思考·判断·表現:(思)				資料活用の	技能:(技)	知識・理解: (知)				
観点の)趣旨	現代社会のと と 人間のを ままま と 人間のを ままま を ない ままま を ない ままま を ない ままま を ない かい	め, 意欲的に るともにま るともにま るりました。 はながれた。 はないがいでする はないがいでする はないでする。 はないでする。 はないでする。 はないでする。 はないでする。 はないでする。 はないでする。 はないでする。 はないでする。 はないできる。 とないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 とないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 とないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 とないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 とっと。 もないできる。 もないできる。 もないできる。 もないできる。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと	といやき立察立に果	間し、社会に関いて多なので、社会に、社会に、社会に、社会に、社会に、、社会に、、対して、	わる事がでいて的変を踏られた方との方との方との方との方との方との方との方との方との方との方との方との方との方	は 解析の り 視的様え程適問を 本方野に々公や切り 視的様え程適切を はいまな 正結に	現代社会の と人間に関わ する諸資料を ィアを通して な情報を適切 効果的に活用 を身に付けて	様々なメデ 収集し,有用 に選択して, して学ぶ方	と人間の在に関わる基	会の基本的問題 Eり方生き方と 基本的な事柄や、 理解し、その知識 けている。		

第 1 学 期 学 習 指 導 計 画

		另一于别于		= .	<u> </u>	7.7			
月	学習項目	目 学習内容や学習活動			の観点	į.	主な評価規準(評価の材料等)	予定	実施は
			関	思	技	知		時 数	時 数
4	第1部 わたしたちの生き る社会 1. 地球環境問題 2. 資源・エネルギ 一問題 3. 生命科学と情報 技術の課題	・現代社会における諸課題,特に生命,情報,環境を扱う中で,社会の在り方を考察する基盤としての幸福,正義,公正などの枠組みついて理解する。・生命,情報,環境などを中心に現代社会に対する関心を高め,いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。・生命,情報,環境などを中心とした現代の諸課題をどのように解決するのか,どうあるべきか,自分なりの考えを持つ。・生涯における青年期の意義を理解する。	0	0	0	0	・現代社会の諸課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。 ・現代社会の諸課題について、幸福、正義、公正などの観点から多面的多角的に考察し、いかに生きるかについて公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 ・諸資料をメディアを通している。 ・諸資料をメディアを通している。 ・現代社会の諸課題の現状や課題、社会の在り方を考察する基盤としての幸福、正義、公正などについて理解し、その知識を身に付けている。	7	
5	第2部 現代の社会と人間 1. 青年期と自己 の形成 ・自分らしく生きる ・人間としてよく生 きる ・日本人としての自 覚	・自己理解を進め、自己形成の課題を考察し、勤労観・職業観を含め、どのように社会参加を果たしていくのか、など自らの人間としての在り方生き方について考察する。 ・伝統や文化が日常生活に与える影響に着目し、現代社会における青年の生き方について自覚を深める。	0	0	0	0	・自己形成の課題を意欲的に追究し、自己の生き方について考察しようとしている。 ・自己形成や生き方について、幸福、正義。公正などを用い多面的多角的に考察、その過程や結果を適切に表現している。 ・諸資料をメディアを通して収集し、効果的に活用している。 ・生涯における青年期の意義、社会参加などについて理解し、その知識を身に付けている。	7	
	中間考査	教科書p6~19	0	0	0	0		1	
7	2. 現代民主政治 と日本国憲法 ・民主政治の基本原理 ・法の支配 ・民主政治のしくみ ・世界の政治制度	・人権の保障、国民主権、議会制 民主主義、権力分立、法の支配な ど民主政治の基本原理などにつ いて理解を深める。 ・民主政治における個人と国家に ついて考察する。 ・政治参加の重要性と民主社会に おいて自ら生きる倫理について 自覚を深め、主権者としての意識 を身に付ける。	0	0	0	0	・民主政治の本質や現代政治の特質を意欲的に追求しようとしている。 ・国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で表現している。 ・現代政治の特質に関する情報を収集し、適切に活用できる。 ・民主政治の基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。	8 3	
	 期末考査	数科書 p 2 0∼4 3	0	0	0	\circ	· · • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1	
	////15 3.55	考查返却						1	
L			1			'	合計	28	
	目目う	立公 松库 田本 WMC 丰田 3	d . I.I.				動: THATA 1 年よく 証(正担)(ま)テク		

生徒の学習状況 の評価方法 関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

第2学期学習指導計画

		弗 4 子 朔 子	=	∃ :	J 🗖	7.	計画		
				評価の	の観点	į		予点	実施
月	学習項目	学習内容や学習活動			·		評価規準(評価方法)	定時	施時
			関	思	技	知		数	数
9	・日本国憲法の基本	・日本国憲法の成立過程及び日本	0				・主権者として憲法成立過程と基	8	
	的性格	国憲法に定める基本的人権の保					本的人権、平和主義の内容を意		
		障, 平和主義について理解を深め					欲的に追求しようとしている。		
		る。		0			人権問題,安全保障を多面的・		
		・生命の尊重,自由・権利と責任・					多角的に考察し、結果と根拠を		
		義務,人間の尊厳と平等などにつ					様々な方法で表現している。		
		いて考察する。			0		・人権や安全保障の時事的な自称		
		・日本の安全を守る安全保障政策					を収集し、適切に活用できる。		
		について理解するとともにこれ				\circ	・憲法が普遍性を持つこと気づ		
		からの防衛政策について考察す					き,人権が生まれながらの権利		
		る。					であること、他者の権利の尊重		
							を理解,知識を身に付けている。		
	・日本の政治機構と	・日本の行政, 立法, 司法制度に				\circ	・平和主義,安全保障について理		
	政治参加	ついて理解を深める。					解,その知識を身に付ける		
		・民主政治における個人と国家に	\circ				・現代政治への関心が高まり、主		
		ついて考察する。					権者意識が身に付いている。		
10		・法や規範の意義や役割について		0			・政治について考察し、政治の在	6	
		理解を深め、法意識を高める。					り方を公正に判断し、その結果		
		・地方自治の意味を理解する。					を適切に表現している。		
		・政治参加の重要性と民主社会に					・主権者として判断に必要な情報		
		おいて、自ら生きる倫理につい			0		を適切に選択し,活用している。		
		て自覚を深めさせ、主権者とし					・日本の政治制度について理解		
		ての意識を身に付ける。				0	し,その知識を身に付けている。		
	中間考査	教科書p44~66	0	0	0	0		1	
11	3. 現代の経済社会	・現代の経済社会の変容について	0				・現代の日本経済の動向や雇用・	8	
	と国民生活	理解を深める。					労働、環境、社会保障に対する		
	・現代の経済社会	・市場機構の機能と限界を理解さ					関心が高まり、経済社会の一員		
		せ、市場の問題点を考察する。					の意識が身についている。		
		・個人や企業の経済活動における		0			・経済の特質,経済政策,消費者,		
		役割と責任について考察する。					労働、社会保障などについて多		
		・経済成長や景気変動と国民福祉					角的多面的に考察し、様々な立		
	ロータンなっは毎1	の向上の関連について考察する。					場に立って公正に判断して、そ		
	・日本経済の特質と	・政府の役割と財政、租税、金融					の過程や結果を適切に表現している		
	国民生活	について理解を深めさせ、日本の					ている。		
12		経済政策の方向性を考察する。			0		・日本経済の課題に関する時事的	0	
12		・日本経済の現状がどのように成れて、スクか理解な深める					事象の情報を様々なメディア	3	
		り立っているのか理解を深める。					を通して収集している。 ・市場,政府の経済活動,雇用・		
		・日本経済の現状がどのように成れているのか理解を深める				0			
		り立っているのか理解を深める。 ・日本の雇用、労働、社会保障に					労働, 社会保障, 公害などについて理解し, その知識を身に付		
		・日本の雇用、労働、任芸保障について理解を深めるとともに今					けている。		
		後の在り方について考察する。					v) ⊂ v ''ఎ°		
	期末考査	教科書p78~102	0	0	0	0		1	
	別小り耳	教育						1	
		7.4000		l	l		合計	28	
合計 28									

生徒の学習状況 の評価方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

第3学期学習指導計画

月 学習項目 学習内容や学習活動			V1- 0 170 0	_		. —	• •			
別 思 技 知 ・国際政治、国際経済への関心が 高まっている。		<u> </u>	学習内容や学習活動		評価の	の観点	į	⇒亚/亚+日外# /⇒亚/亚-十->}+\	予定	実施
# の課題) 	子省垻日			思	技	知	計画规率 (計画方伝)		時 数
 ・国際政治の動向 ・国際政治の動向 ・国際社会における日本の果たす	1	3. 国際社会と人	・グローバル化が進展する国際社	0				・国際政治、国際経済への関心が	5	
核兵器と軍縮について理解する。 ・国際経済の動向と 国際社会における日本の果たすべき役割や生き方を考察する。 ・国際政治、国際経済の時事的事象の情報を適切に選択し、活用している。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		類の課題	会の政治の動向を理解する。					高まっている。		
・国際社会における日本の果たすべき役割や生き方を考察する。 ・国際経済の動向と 国際協力 ・国際社会における貧困や格差について理解する。・先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。 ・先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。 第3部 共に生きる社会をめざして 持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を追求する活動を通して、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。 ・持続可能な社会に参画するという観点の課題を多角的多面的に考察し、その過程や結果を適切に選択し、効果的に活用している。 ・課題を探求するのに必要な情報を適切に選択し、効果的に活用している。 ・課題を追究するための方法について考察を深める。 ・課題を追究するための方法について理解し、その知識を身に付けている。 ・課題を追究するための方法について考察を深める。 ・課題を追究するための方法につないて理解し、その知識を身に付けている。		・国際政治の動向	・国際法の意義,人種・民族問題,		\circ			・国際政治,国際経済の課題を多		
・国際経済の動向と 国際協力 ・国際社会における貧困や格差に 日際協力 ・国際社会における貧困や格差に ついて理解する。 ・先進国日本の国際社会で果たす べき役割について考察する。 ・ 国際政治、国際経済を理解し、その知識を身に付けている。 ・ 国際政治、国際経済を理解し、その知識を身に付けている。 ・ 持続可能な社会の形成に参画す るという観点から課題を追求するという理解を深めるとともに、現代に 生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			核兵器と軍縮について理解する。					面的多角的に考察し、その過程		
・国際経済の動向と			・国際社会における日本の果たす					や結果を適切に表現している。		
国際協力 ついて理解する。 ・先進国日本の国際社会で果たす ○ ・国際政治、国際経済を理解し、その知識を身に付けている。 ・持続可能な社会の形成に参画す ○ 持続可能な社会の形成に対する 関心を高める。 かざして るという観点から課題を追求する指動を通して、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。 3 ○ ・課題を探求するのに必要な情報を適切に選択し、効果的に活用している。 ・課題を追究するための方法につ 2 いて理解し、その知識を身に付けている。 期末考査 教科書p103~146 ○ ○ ○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			べき役割や生き方を考察する。			\circ		・国際政治,国際経済の時事的事		
・大進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。 ・国際政治、国際経済を理解し、その知識を身に付けている。 第3部 持続可能な社会の形成に参画すります。 ・持続可能な社会の形成に対する 関心を高める。・持続可能な社会に参画するという観点から課題を追求する活動を通して、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。 ・消続可能な社会に参画するという観点の課題を多角的多面的に表察し、その過程や結果を適切に表現している。・課題を探求するのに必要な情報を適別に選択し、効果的に活用している。・課題を追究するための方法について考察を深める。 3 期末考査 教科書 p 1 0 3 ~ 1 4 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		・国際経済の動向と	・国際社会における貧困や格差に					象の情報を適切に選択し、活用		
2 第3部		国際協力	ついて理解する。					している。		
2 第3部 共に生きる社会を めざして 持続可能な社会の形成に対する るという観点から課題を追求する活動を通して、現代社会に対する る活動を通して、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に 生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。 ○ ・持続可能な社会の形成に対する 関心を高める。 ・持続可能な社会に参画するという観点の課題を多角的多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・課題を探求するのに必要な情報を適切に選択し、効果的に活用している。 ・課題を追究するための方法について理解し、その知識を身に付けている。 2 期末考査 教科書 p 1 0 3 ~ 1 4 6 ○ ○ ○ ○ □			・先進国日本の国際社会で果たす				\circ	・国際政治、国際経済を理解し、		
#に生きる社会を めざして			べき役割について考察する。					その知識を身に付けている。		
あざして る活動を通して、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。 ・持続可能な社会に参画するという観点の課題を多角的多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。・課題を探求するのに必要な情報を適切に選択し、効果的に活用している。・課題を追究するための方法について理解し、その知識を身に付けている。 期末考査 教科書p103~146 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2	第3部	持続可能な社会の形成に参画す	0				・持続可能な社会の形成に対する	5	
3		共に生きる社会を	るという観点から課題を追求す					関心を高める。		
3 生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。 ○ に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・課題を探求するのに必要な情報を適切に選択し、効果的に活用している。 ・課題を追究するための方法について理解し、その知識を身に付けている。 2 期末考査 教科書 p 1 0 3 ~ 1 4 6 ○ ○ ○ ○ 1 考査返却 1 1 1		めざして	る活動を通して,現代社会に対す		\circ			・持続可能な社会に参画するとい		
3			る理解を深めるとともに, 現代に					う観点の課題を多角的多面的		
3 ・課題を探求するのに必要な情報を適切に選択し、効果的に活用している。 ・課題を追究するための方法について理解し、その知識を身に付けている。 1 考査返却 1			生きる人間としての在り方生き					に考察し、その過程や結果を適		
3 夢適切に選択し、効果的に活用している。 ・課題を追究するための方法について理解し、その知識を身に付けている。 2 期末考査 教科書p103~146 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			方について考察を深める。			\circ		切に表現している。		
3								・課題を探求するのに必要な情報		
3 ・課題を追究するための方法について理解し、その知識を身に付けている。 2 期末考査 教科書p103~146 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								を適切に選択し、効果的に活用		
加え								している。		
期末考査 教科書p103~146 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 1 考査返却 1	3						\circ	・課題を追究するための方法につ	2	
期末考査 教科書p103~146 ○ ○ ○ ○ □ 1 考査返却 1								いて理解し、その知識を身に付		
考查返却 1								けている。		
1		期末考査	教科書p103~146	0	0	0	0		1	
合計 14			考査返却						1	
		1		合計	14					

生徒の学習状況 の評価方法

関心・意欲・態度,思考・判断・表現,資料活用の技能及び知識・理解の4観点から評価規準に従い,総合的に評価する。